

1) システムの名称 :

RPA ツール DigiWorker (デジワーカー)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

2.3. その他 (RPA ツール)

3) 特色 :

RPA ツール DigiWorker は医療機関内で利用する電子カルテや部門システムを始めとした様々なシステムを活用する為の RPA です。価格を抑えシンプルな機能で構成されており、金額面で RPA の導入を見送られていた方にもおすすめです。診療部門をはじめ、事務部門や情報システム部門など様々な部署・業務でご利用いただけます。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明 :

■DigiWorker の 3 つの特長

1. データベースを介したデータのやりとりやシステム改造を行うことなく、データ取得・連携ができる

システムベンダーへの連携依頼を行うことなく、システム間連携が構築できます。これまでのように時間や費用もかかりません。高度な専門知識や技術がなくても、システム同士を結びつけることが可能になります。

2. 画面間でのデータ授受ができる

データ取得においては、画面上に表示された文字をデータとして取得できるだけでなく、ファイル形式のデータも取扱えます。また、データ利用においては、ファイル形式での出力の他、直接画面に入力することもできるので、これまでデータの入出力が難しかったシステムに対しても入力や登録が行えます。

3. 必要な機能だけを切り出して、専用ツールとして利用できる

1:1 の 2 システム間での起動連携からデータ移行まで、利用用途は多岐に渡りますが、必要な部分だけをコネクタとして切り出すことで、専用ツールとして最小構成で利用することができます。

■医療向けに特化した RPA

「患者」をキーにした業務の多い医療機関向けに、患者番号や患者氏名などの情報を予め主要項目としてプリセットしてあるので、簡単にデータ取得設定が行えます。

プリセット項目：患者番号、患者氏名、患者カナ氏名、性別、生年月日、血液型、郵便番号、住所、電話番号

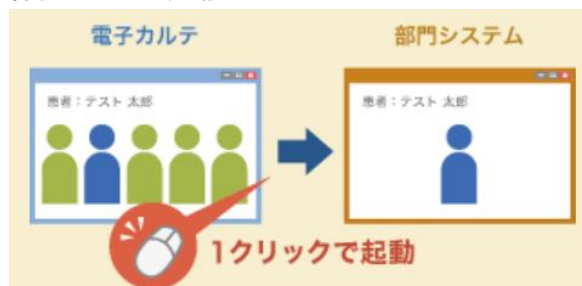
取得元アプリケーション

データ取得設定画面



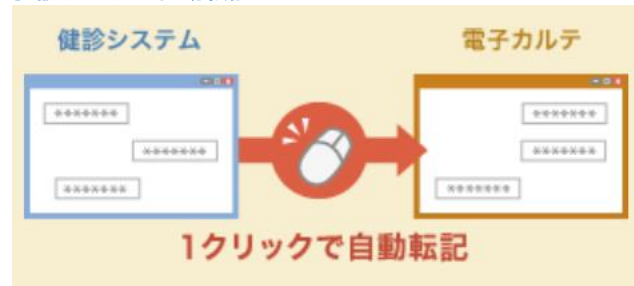
■こんなシーンでご利用いただけます

部門システムの起動



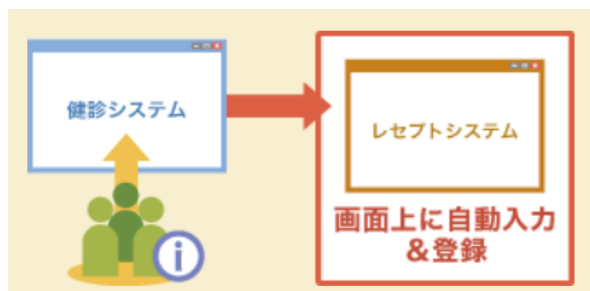
予算の関係で諦めていた部門システムの起動連携を安価に実現します。電子カルテにも部門システムにも改造を行うことなく、電子カルテで開いている患者情報を引き継いで、1クリックで部門システムを起動できます。

健診データの自動転記



健診システムの検査レポート内容を電子カルテに転記する場合、2つのシステムで患者画面を開き該当箇所を1つずつコピー＆ペーストしなければなりません。1クリックで必要な内容を一括してコピーできます。

レセプトシステムへの自動患者登録



健診システムに登録された患者情報を電子カルテに自動的に登録することができます。健診システムから患者情報をファイル出力し、その内容をレセプトの患者登録画面に入力するので、システム改造も不要です。

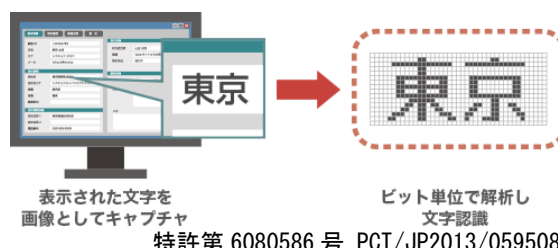
■ファインデックス独自の機能

精度の高い業務自動化には、画面上に表示されている文字認識が欠かせません。一般的な文字認識技術（OCR）では認識精度に限界がありますが、当社では独自特許技術“BCR”により100%の精度での文字認識を実現しています。このBCR技術を用いることで、基幹システムやWebブラウザなど、普段の業務で利用している様々なアプリケーションからデータを取得することができます。

地域連携におけるデータアップロード



地域連携においては施設間で様々な患者情報を共有しますが、施設毎に患者IDが異なるので紐づけが必要です。各施設から患者データをクラウドサービスへアップロードし紐づけることで、効率的に情報共有が行えます。



特許第 6080586 号, PCT/JP2013/059508

5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

未対応

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）：

■構成 ※電子カルテ相乗りを想定の為、推奨スペックを記載
オペレーティングシステム：Windows 8.1, Windows10（※一部機能制限有）
CPU：Intel Pentium プロセッサ 以上
メインメモリ：4GB 以上
画面解像度：SXGA(1280×1024) 以上
<DB版の場合>
DBMS：MicroSoft SQL Server 2016 Express 以降のバージョン

7) 稼働までに必要な作業・期間：

病院担当者様と打合せ（3回程度）・通常5日程度

8) 価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）：

初年度ライセンス費用：6桁
初回導入作業費用：利用内容、範囲によって異なります。
2年目以降ライセンス費用：上記年額ライセンス費用と同額

9) 保守の内容と費用：

■保守内容
システム問合せ・トラブル対応
■保守費用
費用は年額ライセンス費用に含まれる

10) 問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail等）および開発元（もし別途あれば）：

株式会社ファインデックス（旧ピーエスシー） <https://findex.co.jp>
東京本社 〒105-6133 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル33F TEL:03-5408-3745 FAX:03-5408-3744
四国支社 〒790-0003 愛媛県松山市三番町4-9-6 NBF松山日銀前ビル11F TEL:089-947-3388 FAX:089-947-1133
大阪支店 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜2-6-18 淀屋橋スクエア11F TEL:06-6220-1401 FAX:06-6220-1402

※弊社HPのお問合せフォーム（医療システム・サービス）をご利用ください。

https://findex.co.jp/inquiry/inq_pro.html